

母子家庭の医療費助成は

Q 所得要件の変更で予算が50%削減された。失業など経済状況が悪化した場合の対応策は。

A 中学3年生までの子どもは、こども医療費助成で対応。保護者の医療費について対応策は考えていない。

人間ドックの手続き改善は

Q 人間ドックの受診助成の申請は、3週間前が期限になっている。事後申請など手続きの改善はできないか。

A 期限については個々に対応したい。受診後の申請は助成要件に該当しないおそれがあるので難しい。

水田川の浸水対策は

Q 浸水対策に可搬式止水板が予算化されたが、設置場所や取り付け方法の効果は。

A 浸水が多発する交差点に予定しているが、自治会や自主防災組織と設置や保管場所なども含め協議し、効果を検証する。

大気汚染の監視は

Q 住民から黒いススが多いとの声がある。事業所への行政指導や被害への対応、対策はどうしているのか。

A 企業と環境保全協定を結び、事業所に立ち入り調査や住民代表と意見交換をしている。苦情があれば、その都度確認には行っている。

LED街灯の補助は

Q LED化に移行することで、夜間の犯罪抑制につながるが、取り換え1灯に2万円程度が自治会の負担となる。補助金の見直しは。

A 自治会の負担は承知しているが、現状どおり1万円の補助金でお願いしたい。

町道浜幹線の信号増設は

Q 新たに開通する町道浜幹線で、南中学校西側に信号機が設置されていない。関係機関への働きかけは。

A 地域住民や学校関係者などから、設置が必要との声は聞いている。要望を受ければ関係機関に働きかける。



▲BiVi土山のイメージ図



▲止水板による新たな浸水対策（イメージ）



▲バリアフリー化された播磨町駅前



▲信号の設置が望まれる田中道（通称）

BiVi土山の収支は

Q BiVi土山（仮称）の一部借り上げで、費用対効果検証での年間、賃貸収入と賃借支出は。

A BiVi土山の土地貸付収入で約1380万円、交流スペース運営経費として約800万円を支出します。

手話言語に対する理解を

Q 手話言語に対する理解を広める必要がある。平成28年度からは障害者差別解消法も施行されるが、対応は。

A 明石市が手話言語など「障害者のコミュニケーション促進を図る条例」の制定を検討している。町としても参考にしたい。

学校給食は町内産米

Q 米価の下落が続き、農業団体から対策を求める請願も出ているが、消費拡大の取り組みは。

A 各コミセンで開催される料理教室などで啓発している。学校給食では町内産米を使用している。

道路の安全対策は

Q 歩道を安全に通行できる道路のバリアフリー化整備事業の、本年度の整備事業と今後の見通しは。

A 町道浜幹線から播磨町駅前までの道路の測量・設計などを行う。今後においても継続し事業実施の予定。

町内業者に受注機会を

Q 教育施設の大規模工事が今後も続くが、分割発注できる工事は町内業者が入札に参加できるように配慮すべきでは。

A 町内業者に一定の配慮はしているが、大規模工事では参加要件に満たないため難しい。分割発注は個々に対応したい。

避難所の夜間照明は

Q 災害発生時には停電になる可能性が高いと考える。避難所には蓄電池型の照明を設置すべきでは。

A 現在、一時避難所や避難所には蓄電池型の照明を設置していないが、今後検討していきたい。